



World Supersport Championship

round - 6 Malaysia May 15

大久保光-予戦 16 番手 決勝 15 位。

World Supersport Championship (WSS) 第7戦は、5月29日にイギリスのドニントンパークで開催されました。イングランド中部のノッティンガムにある牧歌的な雰囲気のあるコースは一周4.023km、前半は中高速コーナーが連続するハイスピード区間、後半はシケインとヘピンが続き、ブレーキングが重要となり、ひとつのサーキットに反するコースがある攻略の難しいですが、パッシングポイントが多く、激しいバトルが繰り広げられることからレースファンにとって人気があります。

大久保は、初めてのコースながら「好きなコース」と金曜日の走行に挑み18番手、予選でも果敢に挑み16番手を獲得します。スーパーポールに残ることは出来ませんでした、手応えを感じていました。決勝スタートでは14番手とポジションアップした大久保ですが、1ラップ目のシケインで他車と接触、グラベルに飛び出してしまいます。すぐに復帰しますが、23番手から追い上げを強いられました。前戦で出たハンドルの問題もクリアされ、大久保はひたすら、アクセルを開け続け追い上げ、4台の15位争いの集団に追いつきます。激しいバトルを展開し、その争いを制して15位でチェッカーを受けました。2戦連続ポイント獲得です。ヨーロッパ初ポイントゲッターを、何よりもチームスタッフが讃えてくれました。

大久保光

「7戦を戦い終えて痛感していることは、やはり、走行開始の金曜日にタイムアップしなければならないということです。ここでトップ10に入らないとスーパーポールに残るのは難しい。当然ですが、初めて走るコースばかりなので、走り慣れているライバルに遅れてしまう。その問題を解決するために、ベースセッティングをしっかりと、走り込み、初日からタイムアップ出来るようにしたいと思います。そして、タイムだけにこだわるのではなく、パッシングしやすいバイクを作ることが大事なのだ気が付きました。今回は自信があったのに、自分のミスで、コースアウトしてしまい、悔しいレースになりました。ですが、次につながるデータをとれたこと、自分が、WSSを戦うことで進歩していると感じることが出来たのは収穫です。次はしっかりとマシンを仕上げて、シングルフィニッシュを狙って行きます」

○次戦は6月19日イタリアで開催されます。

※アドレスをクリックして頂きますと、メールが立ち上がるようになっております。

お気軽にお問い合わせ下さい。取材対応もさせていただきますので、よろしくお願い致します。

CIA ランドロードインシュアランス◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo. co. jp [大久保 光]

